

第2次宍粟市男女共同参画プラン数値目標（案）

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

重点目標1 男女共同参画社会をめざす啓発活動の推進

No	指標	現状値	目標値 (令和11年度)	資料
1	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対の人の割合	45.2% (平成30年度)	54.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均(54.3%※不明無回答を除く)と比較すると、現状では宍粟市は低い値なので、10年間をかけて全国平均値をめざす。			
1	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成の人の割合	36.4% (平成30年度)	32.0%	
	全国平均(40.5%※不明無回答を除く)と比較すると、宍粟市は低い値であることも考慮し、5年間で2%ずつの減少をめざす。			
2	社会通念・慣習・しきたりなどにおいて「平等になっている」と感じている人の割合	8.6% (平成30年度)	22.0%	
	全国平均(21.8%※不明無回答を除く)と比較すると、現状では宍粟市は低い値なので、10年間をかけて全国平均値をめざす。			
2	「社会通念・慣習・しきたり」における男女の平等感(男性のほうが優遇を感じる割合)	70.1% (平成30年度)	60.0%	
	全国平均(70.4%※不明無回答を除く)と比較すると、宍粟市は現状でも低い値であるが、7割が不平等を感じているため、5年間で5%ずつの減少をめざす。			

重点目標 2 男女共同参画の視点に立った教育の推進

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
3	男女共同参画に関する講演会等の実施回数	3回 (平成 30 年度)	5回	
	5年間で年4回の開催を継続するとともに、次の5年間で年5回の実施をめざす。			

重点目標 3 人権を尊重する意識の醸成

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
4	配偶者等や恋人から暴力を受けたことがある人のうち、被害を相談した人の割合	男性：41.2% 女性：50.7% (平成 30 年度)	男性：57.0% 女性：70.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均（男性：16.6%、女性：50.3%）と比較すると、男性は高い値となっています。女性は全国の成果目標（70%）をめざす（39%増）とともに、男性も同じ割合の増加をめざす。			
5	DV及びデートDV防止啓発講座の開催回数			
6	メディアリテラシー・情報研修の開催回数			

基本目標Ⅱ あらゆる分野で男女共同参画を進める社会づくり

重点目標 1 政策・方針決定過程等への女性の参画拡大

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
7	<p>宍粟市役所における女性管理職の割合</p> <p>「第 4 次男女共同参画」に示された「課長補佐相当職：目標値 30.0%」、「課長相当職：目標値 20.0%」、「部局等・次長相当職：目標値 10.0%程度」の平均値 20.0%をめざす。</p>	<p>14.9%</p> <p>(平成 31 年)</p>	20.0%	ひょうごの男女共同参画
	<p>審議会への女性の登用割合</p> <p>「宍粟市審議会等委員への女性登用促進要綱」に基づき設定された、35.0%の値に近づいているため、10 年間で 5%程度の上昇をめざす。</p>	<p>34.8%</p> <p>(平成 30 年)</p>	40%以上	
9	<p>「宍粟市農業再生協議会」における女性委員の割合</p>	<p>●%</p> <p>(平成●年)</p>		
10	<p>自治会における女性役員の割合</p> <p>5 年間で全地区において女性の自治会役員（自治会長もしくは副会長）の就任を達成するとともに、次の 5 年間で各地区 2 名の就任をめざす。</p>	<p>1 人</p> <p>(平成 30 年度)</p>	8 人	宍粟市市民協働課
	<p>自治会長に占める女性の割合</p> <p>「第 4 次男女共同参画」に示された「自治会長に占める女性の割合：目標値 10.0%」をめざす。</p>	<p>0%</p> <p>(平成 30 年)</p>	10.0%	
11	<p>防災ライセンス講座修了者数</p> <p>10 年間で 20 人の増加（年 2 人ずつの増加）をめざす。</p>	<p>女性：2 人</p> <p>(平成●年)</p>	女性：22 人	

重点目標 1 職場における男女の均等な機会と待遇の確保

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
12	15 歳から 64 歳まで（※年齢要検討） の女性の就業率（平均）	70.6% (平成 27 年)	73.0%	国勢調査
	全国平均（60.2%）と比較すると、宍粟市はすでに高い値であることから、5 年間で 1%程度ずつの上昇をめざす。			
12	25 歳から 44 歳までの女性の就業率	78.6% (平成 27 年)	81.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	「第 4 次男女共同参画」に示された目標値 77%をすでに達成しているため、5 年間で 1%程度ずつの上昇をめざす。			
13	職場において「平等になっている」と 感じている人の割合	20.2% (平成 30 年度)	30.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均（29.7%※不明無回答を除く）と比較すると、宍粟市は低い値であるため、全国平均値をめざす。			
13	「職場」における男女の平等感（男性 のほうが優遇を感じる割合）	51.5% (平成 30 年度)	41.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均（56.6%※不明無回答を除く）と比較すると、宍粟市は低い値であるが約半数が不平等を感じているため、5 年間で 5%程度ずつの減少をめざす。			

重点目標 2 農林業・商工業等自営業における男女共同参画の推進

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
14	女性起業家支援による創業件数 (女性の起業・経営相談事業等を通じて 創業した件数)	検討中		

重点目標 3 仕事と家庭生活の両立支援

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
15	「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」ということばの認知度	29.9% (平成 30 年度)	42.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均（42.2%※参考値）と比較すると、宍粟市は低い値であるため、全国平均値をめざす。			
16	中学生以下の子どもがいる男性のうち、家事・子育てに費やしている時間が1日に1時間以上の割合	49.2% (平成 30 年度)	53.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	全国平均（45.1%※不明無回答除く）と比較すると、宍粟市は高い値であることも考慮し、5年間で2%程度ずつの上昇をめざす。			
16	中学生以下の子どもがいる男性のうち、家事・子育てに費やしている時間が1日に2時間以上の割合	20.4% (平成 30 年度)	24.0%	男女共同参画社会づくりのためのアンケート調査
	「ひょうご男女いきいきプラン 2020」に示された「子育て中の男性で家事・育児参加時間が2時間以上の者の割合：目標値 22.3%以上」を参考に、5年間で2%の上昇を達成するとともに、さらに次の5年間で2%程度の上昇をめざす。			
17	ひとり親家庭の母又は父が就職に役立つ資格取得後（就労支援後）等に就職につながった割合	検討中		

基本目標Ⅳ 安全・安心に暮らせる地域づくり

重点目標 1 生涯を通じた健康づくり

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
18	子宮頸がん検診、乳がん検診受診率	子宮頸がん 31.2% 乳がん検診 32.4%	50.0%	兵庫県疾病対策課まとめ
	「健康しそう 21（第 3 次）および第 2 次宍粟市食育推進計画」における、目標値それぞれ 50%をめざす。			
19	自殺死亡率 (人口 10 万人当たりの自殺者数)	28.1	13	宍粟市保健福祉課
	「宍粟市自殺対策計画」における、目標値 13 をめざす。			
20	運動習慣のある者の割合 20～64 歳（男女別）	男性：17.4% 女性：7.1%	男性：27.0% 女性：17.0%	健康や食育に関するアンケート調査
	「健康しそう 21（第 3 次）および第 2 次宍粟市食育推進計画」における、目標値：男性 27.0%、女性 17.0%をめざす。			
21	運動習慣のある者の割合 65 歳以上（男女別）	男性：26.0% 女性：32.3%	男性：36.0% 女性：42.0%	アンケート調査
	「健康しそう 21（第 3 次）および第 2 次宍粟市食育推進計画」における、目標値：男性 36.0%、女性 42.0%をめざす。			

重点目標 2 多様な人々が安心して生活できる環境の整備

No	指標	現状値	目標値 (令和 11 年度)	資料
22	外国人との交流イベント参加者数	819 人 (平成 30 年度)	維持	市民協働課
	現在の取り組みを継続し、人口に対する割合を維持する。(平成 30 年 9 月末人口 38,138 人に対する割合：2.1%)			
23	「性的マイノリティ」の言葉の認知度 (内容を知っている。見聞きしたことがある。)	算出不可		

23	LGBT（性的少数者）に関して社会的意識が高まっていると思う人の割合	算出不可	